

人物紹介コーナー・散歩道『加藤 由美子 感染管理認定看護師』

感染対策の要として活躍
する感染管理認定看護師



函館中央病院(函館市)
感染管理認定看護師
加藤 由美子 さん

函館中央病院では現在4人の感染管理認定看護師が活躍している。加藤さんは医療安全管理室に所属し、感染管理業務専門に取り組んでいる。日本看護協会が認定する感染管理認定看護師の主な役割は、患者さんや職員など病院に関わる人を感染から守ることを大きな目的に、病院に合った感染プログラムの構築、院内感染の発生状況を調査するサーベイランス、コンサルテーション、スタッフへの教育活動など多岐にわたる。

「コンサルテーションとは、スタッフからの相談業務です。例えば廃棄した注射針を医療者自身に刺してしまふなどの針刺し事故が起こることがあるのですが、そうしたことが起こらないよう対策を考えるのも重要な役割です」。

加藤さんのほか、医師、臨床検査技師、薬剤師、滅菌技師で感染制御チームを構成し、院内ラウンドも定期的に実施。かつてMRSAの院内感染が全国的に問題になった時代があったが、近年同病院では集団発生(アウトブレイク)ある一定の場所の中で、一定期間に予想以上の頻度で感染症が発生すること)した事例はなく、こうした地道な積み重ねがあるからといえる。

感染症に関する研修会等を委託先も含めた院内全職員を対象に定期的開催するほか、函館市内や道南ブロックの感染管理認定看護師の間でも積極的に情報交換や勉強会が行われ、地域を支える活動ともなっている。